

第17回エコプレミアムクラブ

Possible vs Impossible

2020年8月5日

梶原成元

(公財)廃棄物・3R研究財団 理事長

元 環境省地球環境審議官

Possible vs Impossible

(可能) (不可能)

可能、不可能の客体の存在が前提: Action-orientedな言葉?
計画的な意図とセット?

① 目的/目標: なりたい姿 (なりたくない姿/なるべきではない姿)

↓↑

② 手段: やるべきではないこと やれる vs やれない
(①次第で中身が変わる)

⇒ 「目標設定＝べき論」を加えて、行政の最も身近な議論の形式

○何を＝目標設定、どうして(理由)＝べき論

○どうやって(物理的手段) どのように(促進措置: 予算・制度etc.)

Possible vs Impossible: 気候変動対策(緩和)

①2050年△80% 21世紀後半Net Zero Emission

②再生可能電気:

2030年22~24% ⇒ 2050年 ⇒ 21世紀後半(100%)

目標の設定: 年次を定めて、あるべき姿

目標の分割: あるべき姿のブレークダウン。

エネルギーは? 交通は? 産業は? 住宅・都市は?

手段のリスト化 ⇒ 現状評価・潜在能力評価 ⇒ 目標レベルの設定

⇒ 手段の促進措置 ⇒ 手段の実行 ⇒ ○○:

再エネ、ZEV、水素還元、エネルギー生産住宅

Impossible ⇒ Possible

Impossibleの理由(べき議論を超えた後での)

- **経済的に** 困難 (時間がかかる or 本当に困難)
- **技術的に** 困難 (時間がかかる or 本当に困難)
- **意識・認識として** 困難
- **制度的に、体制的に** 困難

時間とともに、Impossible から Possibleに:

10年、20年、30年前は想像もできない 変化が起こる

⇒ 理由を無くし、変化を促進するために、〇〇、△△